

玄関マガジンラック

特徴

- ・ 市販の透明塩ビ製“3段状差し”を、ゲタ箱の側面に簡単にぶら下げるように改善したもの。
- ・ ネジや両面テープを一切使わずに下駄箱に取り付けられる構造

寸法 310 横×715 縦×100 高さ

材料 フレーム部：桧材、合板 5.5 t

塗装 水性ウレタンニス チーク

製作費 未集計

完成：2011 年 1 月



角の裏側にアルミのアンクル材を埋め込んで補強している。



裏話

- ・ 使えそうな“透明の塩ビ製状差し（マガジンラック？）”を東急ハンズでようやく見つけて、下駄箱に両面テープ止めて5年位使っていた。
- ・ さすがに両面テープが両端から少し剥がれてきたし、糊が硬くなると、剥がすのが一寸ヤバくなるかなと不安に感じていた。（化粧ボードは、簡単に表面が剥がれ易いので、直接テープ貼りは絶対避けたいところ）
- ・ この場所（下駄箱側面）は、2階との情報共有化のために設けた“状差し”であり、今では必然性はなくなったが、我が家のデッドスペースであり、邪魔にならないので使い続けることにしている。
- ・ 合板のL字折り曲げ構造のように見せてかけているが、強力なボンド止めとアルミアンクルの補強で、かなり頑丈に作ってある。
- ・ 下駄箱に取り付けてぶら下げてみると、意外とマッチして違和感はない。